

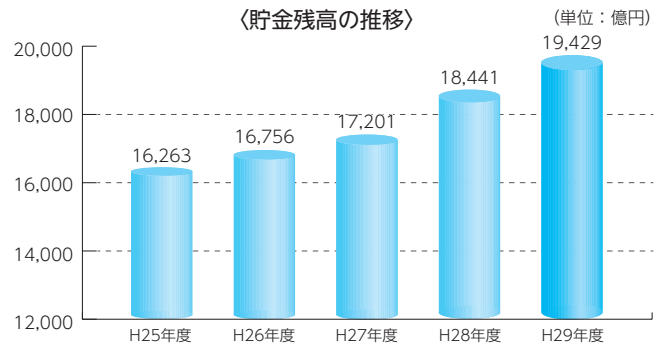
平成29年度業績の概要

平成29年度は、国内経済が緩やかな回復基調を辿ったものの、金利については、日本銀行の金融緩和政策継続により引き続き低水準で推移するなど、厳しい経営環境が続きました。

このような情勢のもと、平成29年度の業績は、次のとおりとなりました。

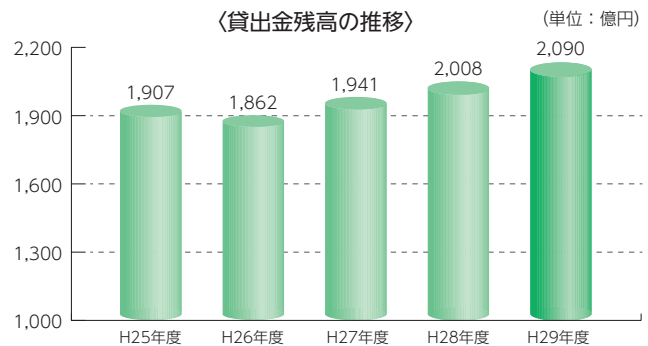
■ 貯金残高

会員JAからの預り金を中心に前期比988億円増加し、1兆9,429億円となりました。



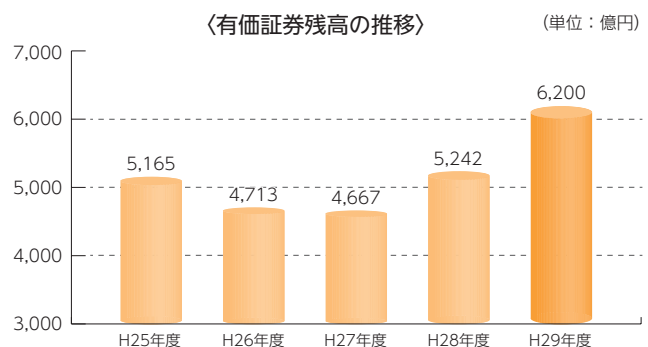
■ 貸出金残高

金融機関の貸出競争が熾烈化するなか、県内農業法人をはじめとする企業等への積極的な営業活動に取り組んだ結果、前期比82億円増加し、2,090億円となりました。



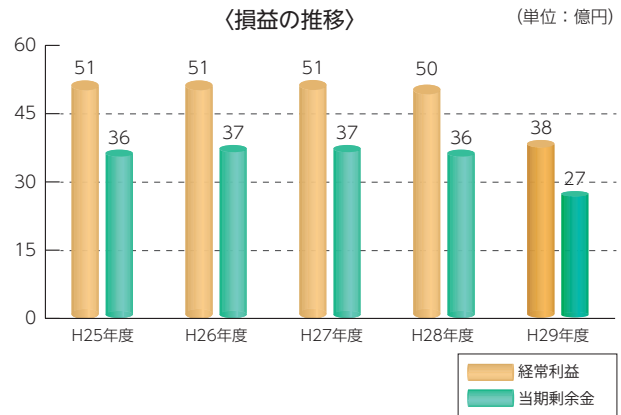
■ 有価証券残高

円貨建債券を中心として、株式、ETF、外貨建外債などを加えての分散投資による残高の積み増しに取り組み、前期比958億円増の6,200億円となりました。



■ 損益

厳しい運用環境のなか、貸出金および有価証券運用残高の増強に努めたものの、経常利益は前期比12億円減少し、38億円となりました。また、当期剰余金は前期比9億円減少し、27億円となりました。

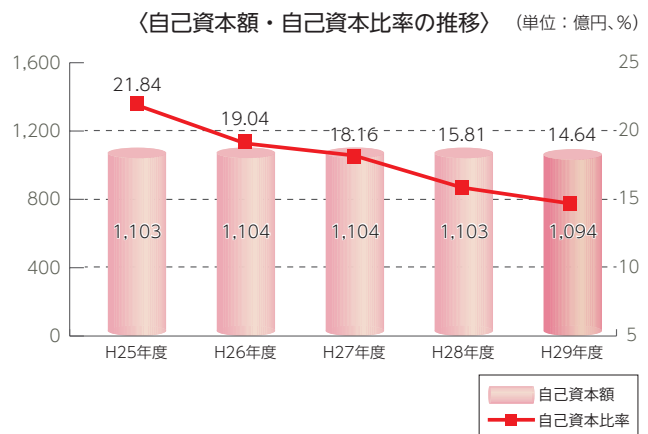


■ 自己資本額・自己資本比率

内部留保の積上げに努めたものの、バーゼルⅢ国内基準適用による劣後借入金の自己資本算入可能額（分子部分）の減少を主因に、自己資本額は前期比9億円減少し、1,094億円となりました。

この自己資本額の減少に加え、運用資産残高増強にともないリスク・アセット額（分母部分）が増加したことにより、自己資本比率は前期比1.17ポイント低下の14.64%となりました。

なお、同比率は、安全基準とされる国内基準の4%、国際基準の8%を上回っており、高い安全性・健全性を維持しています。



平成29年度業績の概要

■ 地域への資金供給等の状況

当会は、三重県を事業区域とする地域金融機関として地域経済の活性化に取り組んでいます。当会がお預かりしている資金の大半は、地域の皆さまが県内のJAにお預けいただいた大切な貯金です。そしてこれらの資金は、農業関連法人をはじめとする地域の企業・団体や地方公共団体にご利用いただいています。

▶ 地域からの資金調達状況

◆預り先別貯金残高 (単位:百万円)

預り先		平成28年度	平成29年度
会員	J A	1,804,788	1,902,791
	その他	26,772	27,910
会員以外		12,613	12,218
合計		1,844,174	1,942,920

▶ 地域への資金供給状況

◆貸出先別貸出金残高 (単位:百万円)

貸出先	平成28年度	平成29年度
会員等	9,222	10,649
地方公共団体	38,394	37,151
その他事業者	153,212	161,247
合計	200,829	209,048

(注) 会員等とは、JAおよびJAの組合員等をいいます。

◆農業関係の貸出金残高 (資金種類別) (単位:百万円)

種類	平成28年度	平成29年度
プロパー資金	6,382	7,713
農業制度資金	1,187	1,153
うち農業近代化資金	944	757
うちその他制度資金	242	396
合計	7,569	8,866

(注) 1. 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。
 2. プロパー資金とは、当会原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
 3. 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことで当会が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。
 4. その他制度資金には、農業経営改善促進資金（スーパーS資金）や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。